



七彩すまいる館 玄関ロビー

社会福祉法人 洛西福祉会
七彩すまいる館 館長 粟津勇一

「彩と笑顔をすまいに」



第54号

新林社会福祉協議会
編集 広報委員

鶯の声に春の息吹が感じられる季節となりました。

新林学区の皆様には、日頃より当館の運営にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「七彩すまいる館」は、協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「七彩すまいる館」は、協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和四年九月七日(水)、新林会館で開催されました。はじめに、京都市沓掛地域包括支援センター長の方から認知症について詳しい症状のお話がありました。いろいろな原因で、脳の細胞がダメンし、さまざまな障害が起り、生活するうえで、およそ六ヶ月以上支障が出

た。敬老のつどいナースにおいて、三年ぶりに開催されました。来賓の方々のあいさつ後、交通安全啓発として、西京区警察署交通総務課の方から、安全な横断歩道の渡り方などパネルで説明がありました。

今回の音楽演奏は、三名のクラシック奏者の方が出演されました。聞き覚えのある演目が続き、演奏の合間には曲の説明や楽器の紹介がありました。会場の皆さんには、耳を傾けて静かに聞き入つておられました。

そして、お食事の時間となり、高齢者に配慮した献立は食材の切り方等が工夫され喜ばれていました。

また、小学生からのお手紙が配られ、微笑みながら読む方もおられました。



林会館で開催されました。はじめに、京都市沓掛地域包括支援センター長の方から認知症について詳しい症状のお話がありました。いろいろな原因で、脳の細胞がダメンし、さまざまな障害が起り、生活するうえで、およそ六ヶ月以上支障が出

た。敬老のつどいナースにおいて、三年ぶりに開催されました。来賓の方々のあいさつ後、交通安全啓発として、西京区警察署交通総務課の方から、安全な横断歩道の渡り方などパネルで説明がありました。この説明が、医や相談機関につないだり、地域での見守りで支えていくことが大切とのお話しがありました。

最後に、受講者に対し、認知症サポートの目印としてカードが渡されました。

つづいて、認知症サポートの説明があり、認知症を理

解し偏見を持たず、本人や家族に対し、温かく見守ること

がスタートとのことでした。

また、保健師の方からは、

高齢化に伴い、増加傾向にある認知症を知り、かかりつけ

医や相談機関につないだり、

地域での見守りで支えていく

ことが大切とのお話しがありました。

最後に、受講者に対し、認

知症サポートの目印として

カードが渡されました。

つづいて、認知症サポート

の説明があり、認知症を理

解し偏見を持たず、本人や家

族に対し、温かく見守ること

がスタートとのことでした。

また、保健師の方からは、

高齢化に伴い、増加傾向にある認知症を知り、かかりつけ

医や相談機関につないだり、

地域での見守りで支えていく

ことが大切とのお話しがありました。

最後に、受講者に対し、認

知症サポートの目印として

カードが渡されました。

つづいて、認知症サポート

の説明があり、認知症を理

解し偏見を持たず、本人や家

族に対し、温かく見守ること

がスタートとのことでした。

また、保健師の方からは、

高齢化に伴い、増加傾向にある認知症を知り、かかりつけ

医や相談機関につないだり、

地域での見守りで支えていく

ことが大切とのお話しがありました。

最後に、受講者に対し、認

知症サポートの目印として

カードが渡されました。

つづいて、認知症サポート

の説明があり、認知症を理

解し偏見を持たず、本人や家

族に対し、温かく見守ること

がスタートとのことでした。

また、保健師の方からは、

高齢化に伴い、増加傾向にある認知症を知り、かかりつけ

医や相談機関につないだり、

地域での見守りで支えていく

ことが大切とのお話しがありました。

最後に、受講者に対し、認

知症サポートの目印として

カードが渡されました。

つづいて、認知症サポート

の説明があり、認知症を理

解し偏見を持たず、本人や家

族に対し、温かく見守ること

がスタートとのことでした。

また、保健師の方からは、

高齢化に伴い、増加傾向にある認知症を知り、かかりつけ

医や相談機関につないだり、

地域での見守りで支えていく

ことが大切とのお話しがありました。

最後に、受講者に対し、認

知症サポートの目印として

カードが渡されました。

つづいて、認知症サポート

の説明があり、認知症を理

解し偏見を持たず、本人や家

族に対し、温かく見守ること

がスタートとのことでした。

また、保健師の方からは、

高齢化に伴い、増加傾向にある認知症を知り、かかりつけ

医や相談機関につないだり、

地域での見守りで支えていく

ことが大切とのお話しがありました。

最後に、受講者に対し、認

知症サポートの目印として

カードが渡されました。

つづいて、認知症サポート

の説明があり、認知症を理

解し偏見を持たず、本人や家

族に対し、温かく見守ること

がスタートとのことでした。

また、保健師の方からは、

高齢化に伴い、増加傾向にある認知症を知り、かかりつけ

医や相談機関につないだり、

地域での見守りで支えていく

ことが大切とのお話しがありました。

最後に、受講者に対し、認

知症サポートの目印として

カードが渡されました。

つづいて、認知症サポート

の説明があり、認知症を理

解し偏見を持たず、本人や家

族に対し、温かく見守ること

がスタートとのことでした。

また、保健師の方からは、

高齢化に伴い、増加傾向にある認知症を知り、かかりつけ

医や相談機関につないだり、

地域での見守りで支えていく

ことが大切とのお話しがありました。

最後に、受講者に対し、認

知症サポートの目印として

カードが渡されました。

つづいて、認知症サポート

の説明があり、認知症を理

解し偏見を持たず、本人や家

族に対し、温かく見守ること

がスタートとのことでした。

また、保健師の方からは、

高齢化に伴い、増加傾向にある認知症を知り、かかりつけ

医や相談機関につないだり、

地域での見守りで支えていく

ことが大切とのお話しがありました。

最後に、受講者に対し、認

知症サポートの目印として

カードが渡されました。

つづいて、認知症サポート

の説明があり、認知症を理

解し偏見を持たず、本人や家

族に対し、温かく見守ること

がスタートとのことでした。

また、保健師の方からは、

高齢化に伴い、増加傾向にある認知症を知り、かかりつけ

医や相談機関につないだり、

地域での見守りで支えていく

ことが大切とのお話しがありました。

最後に、受講者に対し、認

知症サポートの目印として

カードが渡されました。

つづいて、認知症サポート

の説明があり、認知症を理

解し偏見を持たず、本人や家

族に対し、温かく見守ること

がスタートのことでした。

また、保健師の方からは、

高齢化に伴い、増加傾向にある認知症を知り、かかりつけ

医や相談機関につないだり、

地域での見守りで支えていく

ことが大切とのお話しがありました。

最後に、受講者に対し、認

知症サポートの目印として

カードが渡されました。

つづいて、認知症サポート

の説明があり、認知症を理

解し偏見を持たず、本人や家

族に対し、温かく見守ること

がスタートのことでした。

また、保健師の方からは、

高齢化に伴い、増加傾向にある認知症を知り、かかりつけ

医や相談機関につないだり、

地域での見守りで支えていく

ことが大切とのお話しがありました。

最後に、受講者に対し、認

知症サポートの目印として

カードが渡されました。

つづいて、認知症サポート